

山形県スポーツ少年団

大空に翔る

平成7年3月発行

No.11

発行
(財)山形県体育協会
山形県スポーツ少年団
山形市松波2-8-1
☎(0236)30-2891
印刷 精大風印刷



山形県スポーツ少年団
ジュニアリーダーズクール



スポーツ少年大会

ダーの芽!!

山形県飯豊少年自然の家



第三十回山形県スポーツ少年大会が、県内各地より四七名の団員が集い、野外活動やスポーツを通して交流が深められました。

今回の大会は、次の三つの柱を掲げながら大会を行いました。

- 一、共同生活での自分の役割と協力の意味を体得する。
- 二、新たな友を増やす。
- 三、生活のルールの大切さを知る。

八名ずつの六班に分かれ、各指導者の先生方の援助をいただきながら所期の目的を達成することができました。やがて団員が成長し、リーダーとなり、そして指導者として歩んでくれることを期待して止みません。

◆野外炊飯

(赤湯ソフト) 梅沢 彩子

協力なしでは炊飯も失敗します。私達の班は、そんなことに気づかず炊飯をしたので、やっぱり失敗しました。でもだんだんおいしくでき上がり、一日ずつの協力の輪が広がったのだと思います。

◆楽しくできた三日間

(稲穂サッカー) 渡辺 達也

はじめはいろんな面で心配だったが、ゲームやユニホッケーなどいろんなことをして友達がたくさんできました。僕は、この三日間を振り返って、班長としてみんなをまとめることもできたし、いろんなことを楽しくできました。



大会に参加してよかったと思えました。

◆チームワーク

(米沢体操) 金子 哲也

一番楽しかったのはユニホッケーでした。さらに、優勝までできました。優勝できたのは経験者がいたからかもしれないけど、やっぱり班のチームワークがそうさせたのだと思います。まだ初めて顔を合わせてから間もないのに、チームワークができるなんて自分でも感心してしまいました。

◆指導者としての立場より

(あけぼの柔道) 阪野 厚

私は二〇年余の間指導していますが、県大会には今回が初参加でした。県内の指導者と共に過ごさせていただき、

色々な活動内容や指導方法等を聞かされ大変勉強になりました。今回の野外炊飯では、自分なりに少し手を出し過ぎたかなと反省しています。今大会の経験をこれからの活動に生かしていかねばと意を新たにしたいところです。

◆班長になって

(新任柔道) 今田 祐輔

ぼくは三日間班長になり、とても大変でした。でも、毎日いろいろな活動をやっていくと慣れてきてそんなに難しいほどでもなくなりました。とても大変だったけれども、家での生活にも生かしていきたいと思えます。



◆けん玉作り

(河北柔道) 逸見 悦子

むずかしかったのですが、そばにいた先生に「ここむずかしいからやって」とたのんだらやってくれました。とっても素早くしてくれて上手でした。昔の人は、子供の時からやっていたので上手だと思いました。私も手作りのけん玉などを作っていきたいと思いました。





特集

第30回山形県

巣立つりー

平成6年7月29日～31日

参加者(団員)のアンケートより

- 参加して一番楽しかったこと
 - ・キャンプファイヤー ・ユニホッケー
 - ・野外炊飯 ・班のみんなと協力して活動できたこと ・友達をたくさんつくって遊んだこと ・料理を作ったこと ・ゲームをやったこと ・1日目のこわいお話し
- 参加して一番つらかったこと
 - ・早く寝なければならぬこと ・野外炊飯
 - ・早く起きなければならぬこと
 - ・暑くて眠れなかったこと ・キャンプファイヤー ・後片付け ・草取り奉仕
 - ・掃除 ・馬とびをしながらか朝のご飯作りに行ったこと ・部屋割りに自分の団員と別れたこと
- 参加して勉強になったこと
 - ・自分で何でもやること ・遅くまでおきていと次の日大変なこと ・自分一人では何もできないこと ・みんなの協力が大切なこと ・友達が増えたこと ・野外炊飯の仕方 ・ユニホッケーのルール
 - ・ケン玉づくり ・炊事の火の具合 ・カレーの水の量 ・一人が勝手なことをすると班全員が困ること
- こんなこともしたかったこと
 - ・バーベキュー ・フィールドアスレチック
 - ・キャンプ ・山の探検 ・イワメ焼き
 - ・水泳 ・花火大会 ・夜の肝試し
 - ・チャレンジランキング



◆がんばった係活動

(大石田駒籠) 青木 麻美

三日間で一番がんばったことは係活動です。私は美化係を担当しました。そして、友達もたくさんできました。

班では、みんなで力を合わせてがんばったり、目標を立てたりしました。

この大会で、みんなと協力し合いながらがんばって楽しく過ごせたのでよかったです。

◆友達になれたこと

(長井豊田バレー) 鈴木 智恵

一番心に残ったのは、男女の友達ができ、班のぎずなもより一層深まり楽しくやっていけたことです。指導者の方々



にも大変お世話になりました。三日間で学んだことをこれからの生活に役立てていきたいと思えます。また、このような大会にはなるべく参加したいと思えます。

◆三日間の楽しかった生活

(川西青葉剣道) 佐藤 理恵

早く友達を作らなくてはと班の人に声をかけてみました。そしたらすぐに友達になれました。その友達と一緒にやってきた生活は、とても楽しかったです。C・F、野外炊飯、けん玉作りなど友達と一緒にいると、つらい時間もほとんど



ん過ぎていくような気がして面白くなりました。

日独スポーツ少年団同時交流(受入)

ドイツ人と交流して

ホームステイ受け入れ先

村山市 須藤 直子



あの時から数ヶ月、どんなことがあっただろう……。

初めて私の家にマルクスが来た日の夕食は、家族全員が緊張していた。家族の紹介を済ませ、料理の説明をしても、すぐに話がとぎれてしまった。どこに住んでいるのか、地図を広げて教えてもらった後、マルクスが私に向かって言った。「あなたは食べないのでですか？」確かに不自然だった。家族の一員なのだから、一緒に食事をするのが当然、特別扱いたくないようにしなくちゃ、と思った。

「ありがとう。」
マルクスのあいさつは、特徴のあるアクセントで終わり、父と握手をしている。歓迎レモニーの後と同じ光景だ。私の番になり、彼が手を差し出す。もう最後の夜なんだ。

父の合唱団の歌練習を見学しに行った時、マルクスがドイツ語の歌詞を朗読してくれ、おかげで正確な発音ができると、みんなが喜んでいて、彼にはそんなつもりはないだ



ろうけれど、先生になったようで羨ましい。私もいつかホームステイをして、日本語を教えたらいなと思った。

お別れパーティーの時、ユーゲントの出し物が始まって一曲歌い終ると、団員が別れた。マルクスが私の前に来て私の手を取り、ステージの下へ連れて行く。何が起こったの、という顔で彼を見つめると、

一言「ダンシングノ」。音楽がかかって、私は思いつきりりどされながら踊りを合わせていった。彼らは、本当に楽しそうに声を上げながら踊っている。とまどっていた自分が恥ずかしくなった。その後、今度はパーティー会場にいる人全員が輪をつくった。初めて、生きていることを感じさせてくれたような気がした。

彼らの力はすごいと思う。日本人は飾りすぎだ。年齢や性別が違ってても、言葉が通じなくても関係ない。人は楽しければ、それで心は開き合える。彼らに会えてわかった。会えて本当に良かった。「また逢う時まで、ドイツ語を一生懸命勉強する。」って約束したから、今度会う時はドイツ語で話したい。



日独スポーツ少年団同時交流(派遣)

ドイツで作った一生の財産

荒砥剣道スポーツ少年団

山口 祐子

この度、町スポーツ少年団 した。私は小学三年生から剣道の御推薦をいただき第二回 道を習い初め、高校まで一貫日独スポーツユースメント同時 して続けてきました。現在は交流に参加させていただきま という、各大会等の審判以



外、活動をしていかなかったの
で御推薦いただいたことを大
変光栄に思っています。

二度の事前研修を経て、七
月二十日成田からフランクフ
ルトまでの直通便でいよいよ
フライトしました。約一二時
間の空の旅を終えると、私達
を待っていたものは「緑の木々
とオレンジ色の太陽」。今まで
想像だけの国だった異国の地
ドイツは、そんな素晴らしい第
一印象を私に与えてくれまし
た。そして同時に私達のドイ
ツでの二五日間の生活が始ま
りました。

私達東北日グループの研修
地は、ドイツの南部に位置す



るバーテン・ヴェルテンベル
ク州のハイルブロンという地
域です。大きな街ではなかつ
たけれど、どこまでも続くひ
まわり畑や私の背たけもある
ようなところもろこし畑といっ
た壮大な景色が印象的な所で
した。そこで水泳連盟の方に
受け入れていただき、毎日の
研修はもちろん、ホストファ
ミリーとしてもお世話してく
れました。一八日間の研修の
中で私が一番印象に残ってい
るのは、やはり年間の消費量
が世界一だというビールの工
場視察です。工場には製造技
術を身につけるためと中国人
が働きに来ていました。ドイ
ツでは水が硬水のため飲水量
には適さず、普段水がわりと

して取っているということが
世界一たる所以なのではない
でしょうか。その他アウディ
やベンツ工場視察、また学校
制度の違いなどにも興味深い
ものがありました。一日一日
充実した日を過ごしていたと
思います。

一番心配していた言葉の壁
もドイツの方の温かい歓迎で
どこかに飛んでいったよう
で。この経験を一生私の財
産とし、今後の山形県スポ
ーツ少年団、また昨年の夏創設
された県スポーツ少年団リ
ーダー会の発展につながるよう
生かしていきたいです。

団員の夢



中山ジュニアスポーツ少年団

小関 敬太 (中山町)

ほくの夢は、三つあります。第一は、スポ少県大会優勝です。第二は、甲子園出場です。第三は、プロ野球選手のように野球がうまくなることです。先ばいたちが二年連続県大会に出場し準優勝しました。

ほくたちは六年生になったら県大会で、優勝するのが夢です。ほくたちの先ばいで平成五年の夏、甲子園で活やくした日大山形のキャプテン高橋厚介先ばいがあります。ほくも先ばいのように甲子園に出場し、ヒットを打ち活やくするのが夢です。

そして、最後に巨人軍の松井秀喜選手のように野球がうまくなりたと思います。松井選手はほくが三年生の時、ほくたちの町にある県野球場で国体の時、ホームランを打ちました。そして今、巨人軍

で活やくしています。ほくも松井選手のように野球がうまくなるのが夢です。



神町ハンドボールスポーツ少年団

渡辺 愛子 (東根町)

私の夢は、ハンドボールをずっと続けて、全日本の選手のように上手になることです。四年生で初めてハンドボールをやった時は、なかなかシユートができなくて、おもしろくありませんでした。だけど、五年、六年になるにつれて、試合に出る回数も多くなり、ハンドボールのおもしろさを知ってきました。一月に行なわれた東日本のチェリー

カップでは、準優勝になることができました。全日本の選手の人達には、まだまだとどかないけれど、中学校でもハンドボールをがんばって、どんな技をみがいていきたいと思っています。それと同時に、このハンドボールできたえた努力や、根性などを、これからの生活にも活用できるようにがんばりたいと思います。



谷地中部地区卓球スポーツ少年団

松田晃一郎 (河北町)

ほくは、三年生の時卓球スポーツ少年団に入りました。卓球スポ少では、週に強化練習も合わせて三回練習しています。大事な試合がある前の時など、中学校の練習に参加して練習したときもありました。全国大会に行ったときなど、みんなレベルがたかくてもつとがんばらなければならぬなと思いました。卓球をやっていることは、



明安スキースポーツ少年団

丹 宏二 (金山町)

ほくたちは、明安スキースポーツ少年団では、様々な活動を通して、体や心、礼儀などを鍛えています。春から秋にかけては、男子は野球、女子はバスケットボールを中心に活動しています。また、マラソンなどにも力を入れ、「明安森林マラソン大会」を開き、他のスポーツ少年団を招待し、お互いに力を試しながら交流を深めています。その時は、いも煮会など楽しい行事もあり、みんなに喜ばれ、頑張っています。

ほくたちは、明安スキースポーツ少年団で、冬には、秋までに鍛えた体力を生かし、クロスカントリースキーに取り組んでいます。毎年、様々な大会で上位入賞を果たし、ますますさかんになっています。お父さんお母さん方も、精一杯応援してくれています。

ほくたちのスポーツ少年団では、それぞれの種目の技を鍛えるときに、精神面でも成長できることをめざして、頑張っています。



南陽空手道スポーツ少年団

増川 里志 (南陽町)

練習は火曜日と金曜日です。ほくは、なるべく休まないように練習へ行っています。ほくたちは、練習の時いつも、礼儀を正しくしよう。

試合などでいろいろな所に行けたことです。中学校に行っても卓球をがんばってほしいと思います。

冬には、秋までに鍛えた体力を生かし、クロスカントリースキーに取り組んでいます。毎年、様々な大会で上位入賞を果たし、ますますさかんになっています。お父さんお母さん方も、精一杯応援してくれています。

ほくたちのスポーツ少年団では、それぞれの種目の技を鍛えるときに、精神面でも成長できることをめざして、頑張っています。

練習は火曜日と金曜日です。ほくは、なるべく休まないように練習へ行っています。ほくたちは、練習の時いつも、礼儀を正しくしよう。

一、父母を尊敬しよう。

一、友達を大切にしよう。

一、礼儀を正しくしよう。

一、時間と規律を守ろう。
これをもっとうにして、気合を入れて練習にはげみたいと思います。

僕は四月から中学生になりませんが、ひまをみて空手の練習へ行きたいと思っています。空手のできるじょうぶな体に生まれてきたこと、また昼



小国町サッカースポーツ少年団

今道 麗人(小国町)

「やったあー」シートが入ったぞ。ぼくの夢は、プロサッカー選手になることです。なぜかという、シートが入った時、勝ったときが一番気持ちいいスポーツだからです。

プロサッカー選手になるために太っていた体を、ランニングや毎日のリフティングでベストまでもってきました。時々いやになったり、なげ出したくなりしましたが、それをがまんして、悲しんだり、よろこんだりしてがんばってきました。

また、サッカースポ少では、練習試合や、えんせいにいたりして、おこられたり、ほ

しかし、こんなことはまだ第一歩です。まだまだやらなければならぬことはいっぱいあります。がんばることもいっぱいあります。まだが



余目卓球スポーツ少年団

高橋 直子(余目町)

私は、大人になっても卓球を続けたいと思っています。

日本一の卓球選手に選ばれたいです。コーチからわからないの賞状やトロフィーをもらえるようにできるだけがんばって、家族の人に喜んでもらいたいです。特に、おばあちゃんからいっぱい喜ば



ほなみミニバスケットボール

スポーツ少年団

監督 遠藤 一郎

当団は、加入学年が四年から六年までとなっており、平成六年度は男女合わせて七〇



県外においても交流が深く、精神的に活動をさせていただいております。

また、当地区は伝統ある「金井バスケの地」でもあり、OJ会や保護者会の組織体制も非常に充実しております。

当団は今年九月で設立二十

谷地中部地区卓球スポーツ少年団

代表 朝鳥 茂男



谷地中部地区卓球スポーツ少年団は、河北町谷地中部小学校の子供を中心に、小学二

周年を迎えました。この間、楽しい活動を通してながらも、各大会では常に上位に入り、昨年度は男子が東北大会に出場し、今年度は女子が東北大会出場、男子は三県交流大会に出場するなど好成果をあげております。

年生から小学六年生まで三十一名(男子二〇名、女子一一名)の団員で活動している。河北町に小学校が六校あり、すべての学校に卓球スポーツ少年団がある。そんなことからライバル意識も強く、練習は毎週木曜日。そして希望者だけの練習日を火・土曜日に河北町民体育館の隣、谷地地区体育館を専用練習場の様に使用してもらっている。そんな甲斐もあつてか、ここ数年前から(平成五年度は七名、平成六年度に八名の子供たちが)全国大会に出場することができ、昨年の大会では、パンピの部でベスト16になった。全国大会出場をあまり目標にし

ていないが、数多くの卓球大会に出て友を作ってほしい。また、町民体育館で、平成四年に国民体育大会の卓球会場に成り(成年の部)、平成七年一月二十五日には、第六回ワールドオールスターサーキット

寺内スキースポーツ少年団

菅野 孝

ぼくたちスポ少は、四年生から参加の団です。春から指導員のもとではしつたりバスケットやサッカーなどして、楽しみながら体力作りをして冬のスキーにむけてがんばっています。もちつき大会や部落一周の駅伝大会など、団員のチームワークを取りながら活動しています。ぼくたちの目標はカザマカップ大会でがんばることです。

神田スポーツ少年団

代表 高橋 安夫

本団は学校区少年団で、男子はサッカー、女子はバレーボール、冬季間は共通でスキーというように複合種目で活動しています。全校児童数がわずか七五人ですが、三年生以上の子ども達がほとんど加入し、体力と仲間づくりをモットーに元気な声が響きわたっています。



米沢柔道連盟スポーツ少年団

指導員 菅原 勇

米沢柔道連盟スポーツ少年団は、昭和五十一年に団登録をしておりますが、過去をさかのぼれば、米沢地区柔道連盟が戦後活動を始めると同時に、少年部の指導にあたってきたものであり、今年で四八年を経過する伝統ある少年団であります。

現在団員は、小学生を中心に、男二八名、女二〇名で、市武道館にて週二回（火、金曜日）、一時間三〇分程度稽古に励んでおります。

柔道を通して、技術、体力、精神力を養い、りっぱな人間になるようにと指導育成しております。

年間行事としては、昇級審査会、芋煮会、年越し稽古、鏡開き、窪田スポーツとの交流会、各種大会参加等があります。中でも年越し稽古は、県内どの少年団でも行っていない行事ではないかと思えます。



一條サッカースポーツ少年団

代表 富樫 浩明

団結成二一年目を迎え、団員数四七名（内中学生二〇名）、指導者数四名と定期活動時には小規模ながら、地域にねざしたスポーツ少年団を念頭に、OBを含め地域一般賛助会員等、今年度会員数三〇〇名のバックアップのもと後援会を組織し、大会案内及び結果等活動行事があるたび、団独自の会報を全会員へ発行し、地域一体の活動を行っております。

また、今年度で七回目を迎えた招待大会の開催、一、二



白鷹町バドミントンスポーツ少年団

代表 小形 欽也

③ 自分の体を生かしきる。

④ まわりの人が感動するよ

平成元年に、ルールもまったく知らない新人団員ばかり一〇人から始まり、今では中学生六人を含む三九人の団に育ってきました。

私たちの団の目標は、

① スポーツを好きになる。

② 頭で考えたバドミントン。

そして、この目標を達成するために、バドミントンの他に、冬はスキーに出かけた親子で体力テストをしたりと楽しむ行事もやっています。

小三から中三までの子供たちと、やさしい指導者・保護者とともに、きびしく楽しいバドミントンをこれからもやって行きます。





視察研修で学んだこと

南光台東ミニバスケットボール
スポーツ少年団との交流を通して

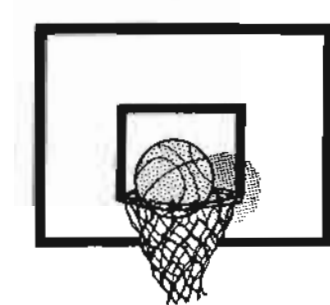
長井市スポーツ少年団では、スポーツ少年団の組織・活動運営の在り方・育成母集団の組織・関わり方等を研修しようということ、他地区優良スポーツ少年団の視察研修を企画し、昨年度、仙台市泉区南光台東ミニバスケットボールスポーツ少年団を訪問させていただきました。

特に、この研修会で注目したことは、団の組織でした。その一つは、団活動の企画・運営に関することから会計、活動場所の確保、日程調整に至るまで母集団を中心として展開していること。そして、その母集団を形成しているのは、母親だったことである。

(大方の団では、指導者で企画・運営し、母集団はそのサポート役であることが大半であろう。)南光台東では、代表指導者と母集団が月一回の会議をもち、団活動の計画を決

め、その運営を進めていく母集団主導であり、指導者は団員の指導に専念できる体制であった。また、親の会の規約の中に、保護者が親の会の会員でなければ、その子供も団員になることはできない。親と子が共に入団することが原則となっていて、親自身も積極的に子供の活動に参加して、いこうとする姿勢が伺えた。こうしたつながりが団活動の大きな原動力になっていたようである。

二つ目は、OB会組織であった。学校を卒業すると少年団の卒団でなく、後輩の指導にあたりたり、自ら行動を開催したり、また、各種大会に参加したりと同じ仲間同志、スポーツ少年団を媒介にしながら家族的結びつきをもっており、南光台東の大きさが感じられた。



いて紹介してきたが、母集団にしてもOB会にしても、先ず、自分自身楽しくなければならぬ。楽しいからこそ皆んなが参加し、よりよい方法を模索し、最良の組織を築いていけるのだろうと思った。最後に、昨年度、私たちが快くお引き受けして下さいますこと。また、今年度には、長井市にお迎えし、楽しい交流会を開催できましたことに、厚く感謝申し上げます。今後ともお互いの団の友好が続くことを祈念して閉じます。

ドイツスポーツ少年団

指導者を迎えて

十月二十九日から十一月二日の四泊五日の日程でドイツスポーツ少年団の指導者の方々が、山形県を訪れ、山形県スポーツ少年団の指導者・団員との交流やスポーツ関係の研修を行いました。

五日間、さまざまに交流がくり広げられましたので、その一部を紹介します。

動視察の場面では、団員とともに野球、バレーボールを楽しみ、熱中するあまり昼食に一時以上も遅れ、そば屋さんに怒られてしまったほどです。

県内のスポーツ施設の見学の研修では、県総合運動公園とオレンジワンスポーツクラブを訪れ、ドイツの施設との比較から数多くの質問が起き





れました。

また、スポーツ活動の現状視察として、JFLで活躍するNECサッカー部とゲートボール連盟にお願いして、ゲートボール体験を行いました。こうして、幅広く山形県のスポーツ事情について研修した後、それに基づいて県内スポーツ少年団指導者、リーダーとの意見交換を行ない、両国のスポーツ少年団の活発な活動に役立つ研修を行いました。

わずか五日間ではありましたが、数多くの思い出を残した研修でした。

平成六年度日本スポーツ少年団シニアリーダー
スクール参加者

- 茂木 剛 色摩 陽
- 佐藤 浩美 石山 直哉
- 水口 美紀 渡辺 実
- 四釜 忠明 宇野 健志

第三二回全国スポーツ少年団大会参加者

- 酒井 宏幸 (白鷹町)
- 斎藤 真紀 (青葉剣道)
- 上野 美穂 (曙光卓球)
- 丸山 夕子 ()
- 池田 史裕 (あけぼの)
- 石山 直哉 (やまぼうし)
- 宇野 健志 ()

平成六年度日本スポーツ少年団ジュニアリーダー
スクール参加者

- 星川笑美子 (駒込スポーツ少年団)
- 宗片 香織 (山形乗馬)
- 佐藤 大輔 ()
- 松田 幸憲 (長井市柔道)
- 斉藤 豊和 (青葉剣道)
- 船山 聡史 ()

平成六年度日本スポーツ少年団認定育成員更新者

- 長沢 雅人 梅津 和士
- 井上 道雄 佐竹 陽一
- 文屋 正道 五十嵐英治
- 遠藤 啓一 後藤 尚義
- 加藤 啓一
- 佐藤 利浩

市町村の動き

(寒河江市)

寒河江市でも着実にスポーツについての価値観が転換しつつあります。

それは、一口にスポーツ少年団は「生涯スポーツ」の基礎をきづくものだとして理解しつつ、ややもすると競技的側面に走りがちである周囲の環境に変化がみられるということです。

昨年初めて開催された市のスポーツ少年団大会では、スポーツを通じた人と人との結び付き「交流」が如何に素晴らしいかを、参加団員は肌で感じたとようで、またの開催を望む

声が多く、今後の事業の方向性を示してくれた意義ある大会となりました。

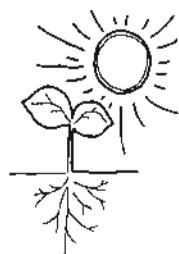
また、魅力あるスポーツ少年団活動を目指して、一昨年度五月に指導者協議会を発足させ、一三八名の指導者により競技種目を越えた指導研究に取り組んでおります。

本市の団員は、今年度七八四名で小学生の加入率は二三五%と低く、当面県平均を目標に加入促進を図ることが生涯スポーツ振興への近道として、楽しく魅力ある団活動を模索しながら事業を展開しております。



平成7年度 山形県スポーツ少年団主要事業計画(案)

	事業名	期日	会場		
大会関係	県内	・第17回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会県予選会	6月18日、7月2日	県野球場 神室少年自然の家 総合運動公園他	
		・第31回山形県スポーツ少年大会	7月28日～7月30日		
		・県民スポーツフェスティバル「少年少女スポーツ交流大会」	10月1日		
	県外	・第26回東北ブロックスポーツ少年大会	7月25日～7月28日	宮城 県	
		・第33回全国スポーツ少年大会	7月28日～8月1日	岩手 県	
		・第17回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	8月8日～8月10日	福島 県	
		・第17回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北II大会	7月25日	宮城 県	
		・第17回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月6日～8月9日	富山 県	
		・第15回東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	・サッカー	7月28日～7月31日	福島 県
			・柔道	12月9日～12月10日	山形 県
・第18回全国スポーツ少年団競技別交流大会	・ミニバスケット	未定	岩手 県		
	・卓球	3月27日～3月29日	三重 県		
・第1回全国スポーツ少年団 SHIPS 交流大会	・剣道	3月26日～3月28日	大阪 府		
研修関係	県内	・認定員養成講習会(県内4地区)	12月2日～12月3日	西村 山	
			7月22日～7月23日	最上 上	
			6月24日～6月2日	西置 嶋	
			10月26日～10月27日	庄内 山	
			12月3日	北川 町	
	県外	・体力テスト判定員講習会	8月17日～6月19日	川西 市	
		・県ジュニアリーダースクール	3月9日	最上 市	
		・県指導者研修会	3月5日～3月6日	山南 市	
		・市町村スポサポ安事務担当者研修会		東北 村	
		・育成母集団研修会(県内2ヶ所)		山北 村	
・リーダー研修会					
県外	・中央リーダースクール(シニア)	8月15日～18日、3月25日～27日	秋田県、静岡県		
	・認定育成員養成講習会(兼)少年スポーツ指導員養成専門科目講習会	(前)11月3日～5日	秋田 県		
	・育成員認定研修会(兼)少年スポーツ指導者資格取得補講	(後)12月1日～3日	秋田 県		
交流	県内	・地域交流促進事業		西置 賜	
				最上 上	
	県外	・第22回日独スポーツ少年団同時交流(受入)	7月31日～8月6日	庄内 地	
	・〃(派遣)	7月20日～8月12日	ドイツ各		
会議他	県	・県スポーツ少年団表彰	3月5日	上山 市	
	県内	・県スポーツ少年団代議員会	5月10日	山形 市	
		・県スポーツ少年団第1回本部員会	5月31日	山形 市	
		・県スポーツ少年団第2回本部員会	2月20日	山形 市	
		・県スポーツ少年団専門委員会		山形 市	
	・県スポーツ少年団指導者協議会理事会	5月23日、10月31日	山形 市		
県外	・全国指導者協議会	6月30日～7月3日	北海道		
	・東北ブロック指導者研究協議会		青森 県		
	・北海道、東北ブロック会議	2月15日～2月16日	森東 京		
	・日本スポーツ少年団委員総会	6月14日	東京 都		
	・全国都道府県事務担当者会	6月14日～6月15日	東京 都		



何かとお忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、編集に労をいただいた各支部担当者に厚くお礼を申し上げます。前号より紙面を変え、子供の夢、子供からの紹介等々の欄を設け、今回も同様の貴重な内容を掲載することができました。

平成六年第四九回国民体育大会の結果、総合二〇位との県体育振興会から報告がなされ、今後に向けて、スポーツ少年団活動、そして中学、高校生への養成がなにより大切になると言われております。これからも子供たちそれぞれの健康な心と体力作りを基本に更なる発展を期待します。

編集後記